

消費税増税、大規模リストラ許すな

雇用・地域経済を守れ



<上> 吉村知事(左端)に要請する県労連の人たち
<下> 県に要請する新婦人の人たち(左側)

山形県労連の要請は、「消費税増税、新たなリストラから雇用と地域経済を守るための要請」となっています。
浜田藤兵衛議長が吉村美栄子知事に要請書を手渡し、ルネサス鶴岡工場と東芝ライテック長井工場などの閉鎖・撤退問題で雇用と地域経済を守ることを求めました。

山形県労働組合総連合(県労連)が11月19日、新婦人の会山形県本部(新婦人)が同26日、それぞれ県に対し雇用・地域経済、子育て支援などについて要請を行い、私渡辺ゆり子も同席しました。



2012年12月2日
-37号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
県議会共産党執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅:山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

部長がルネサスと東芝ライテック本社に行き、事業継続と雇用維持を要請してきた」と述べました。
その後、県労連は深澤良光・商工労働観光部

長、飛塚典子・雇用対策課長と懇談しました。
参加者からは、自治体非正規労働者の待遇改善や、母子家庭の就労支援強化を求める声などがあり、大震災・原発事故避難者も含めた雇用対策のいっそうの強化を要請しました。



医療費を中学3年まで無料に 予防ワクチンの定期接種化・財源確保を

新婦人山形県本部(豊川ちえ子会長)が吉村知事に対し提出したのは、「子育て支援事業充実に関する要望書」。

内容は、
子どもの医療費無料化を中



学3年生まで拡大(県は現在、通院は就学前まで、入院は小学6年生まで医療費助成を実施)、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌の3ワクチンの定期接種化と国による財源確保、の2項目です。

山口真一・子ども家庭課長は、「子ども医療費については、国の支援制度を要望するとともに、部内でも議論されている。保育など他の子育て施策とのバランスや対費用効果などを考えて、どういう子育て支援ができるか検討している」と答えました。
参加者からは、「自治体間で格差があるのはおかしい。お金の心配なく医者にかかれるようにしてほしい」、「アトピーやアレルギー治



「政党らしい政党」を
いまこそ大きく

日本共産党は11月18日、山形ビッグウイングなど県内2カ所で演説会を開催。総選挙勝利へ熱気があふれました。【写真】参加者の声援にこたえる(左から)高橋ちづ子衆院比例予定候補、小池晃政策委員長、石川渉・衆院山形1区予定候補、岩本こうじ・同2区予定候補

療などの医療費負担が大変」などの声が出され、「段階的に制度拡充を」と強く求めました。
予防ワクチンにつ

にあたっては、市町村によって格差が出ないよう国の財源確保を強く要望している、「定期接種化については来年4月から期待されていたが、国会での法案審議が必要で、総選挙となったため不透明な状況」と答えました。
参加者からは、「無料でワクチンが受けられるようになって大変助かっている」、「インフルエンザ予防接種も無料にしてほしい」と、会員からの要望があることも紹介されました。

「認知症サポーター養成講座」を受講

街や身近なところで認知症の方と出会ったらどう対処するかあるいは家族の方をどう支援していくかについて、認識を深める講座です。
講師からは、人間としての尊厳を大切にしながら向き合うことが基本ということを強調されました。



日常生活でも当たり前の簡単なことのようにですが、社会全体がそうなるためには、認知症に対する理解や認識が多くの人に共有されなければなりません。認知症だけでなく、多様な人間の個性を、差別や偏見なく認め合う社会づくりにつながっていると感じました。
なにはともあれ、気軽に実践し、機会をとらえて周囲の人と考えたり、話し合ったりしようと思います。

12日(水) 午前11時前後から60分間
県議会予算特別委員会で質問予定